



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 田谷

コード番号 4679 URL <http://www.taya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 匡邦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 兼 管理本部長 (氏名) 中村 隆昌 TEL 03-5772-8411

定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,785	22.4	1,264		1,282		1,013	
2020年3月期	8,746	10.1	384		401		384	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	202.89		66.2	25.8	18.6
2020年3月期	76.94		17.2	7.4	4.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,899	1,025	20.9	205.25
2020年3月期	5,028	2,039	40.6	408.14

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,025百万円 2020年3月期 2,039百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	839	293	366	378
2020年3月期	40	134	149	557

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00						

(注) 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な算定が出来ないことから未定としております。第1四半期決算短信を公表する段階で2022年3月期業績予想を開示する予定です。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	5,100,000 株	2020年3月期	5,100,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	102,946 株	2020年3月期	102,946 株
期中平均株式数	2021年3月期	4,997,054 株	2020年3月期	4,997,054 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルス感染症の影響等、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を記載しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13
4. その他	15
(1) 役員の異動	15
(2) その他	15

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の低迷が続きました。また、政府による各種政策の効果や海外経済の改善により持ち直していくことが期待されるものの、感染再拡大による国内外経済の下振れリスクや金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があり、先行き不透明なまま推移してまいりました。

美容業界におきましても、新型コロナウイルス感染症に伴う急速な消費マインドの冷え込み、感染症対策の営業体制、店舗間競争の激化、また労働需給逼迫による美容師確保難など、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、新型コロナウイルス感染防止対策として、社員のマスク着用、定期的な消毒や換気の実施など、感染防止対策を徹底した上で、「心技体」をスローガンに、質の高い技術・接客・サービスを提供し、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいりました。

店舗につきましては、美容室1店舗（TAYA あすみが丘店）の改装を行い、一方で美容室2店舗（Shampoo メイト黒崎店、TAYA 黒崎井筒屋店）を閉鎖いたしました。これにより当事業年度末の店舗数は、美容室117店舗と小売店1店舗となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は6,785百万円（前期比22.4%減）となり、営業損失1,264百万円（前期は営業損失384百万円）、経常損失1,282百万円（前期は経常損失401百万円）となり、特別損失に店舗閉鎖損失および減損損失等を計上し、更に繰延税金資産を計上したことにより、当期純損失は1,013百万円（前期は当期純損失384百万円）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は4,899百万円となり、前事業年度末比128百万円の減少となりました。

流動資産の残高は968百万円（前事業年度末比351百万円減少）、固定資産の残高は3,931百万円（前事業年度末比223百万円増加）となりました。主な要因につきましては、繰延税金資産が581百万円増加及び売掛金が32百万円増加したものの、現金及び預金の減少395百万円、建物の減少235百万円、敷金及び保証金の減少86百万円であります。

当事業年度末の負債総額は3,874百万円となり、前事業年度末比885百万円の増加となりました。

流動負債の残高は2,504百万円（前事業年度末比829百万円増加）、固定負債の残高は1,369百万円（前事業年度末比55百万円増加）となりました。主な要因につきましては、長短借入金の純増382百万円、資産除去債務の増加144百万円、未払費用の増加136百万円、預り金の増加121百万円、未払消費税等の増加103百万円であります。

当事業年度末の純資産は1,025百万円となり、前事業年度末比1,013百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の40.6%から20.9%に減少いたしました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ178百万円減少し、378百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、営業活動の結果使用した資金は839百万円（前期は40百万円の使用）となりました。

これは主に、税引前当期純損失1,557百万円であったことに対し、減価償却費180百万円、店舗閉鎖損失177百万円、減損損失62百万円、預り金の増加121百万円、未払費用の増加110百万円、未払消費税等の増加103百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、投資活動の結果得られた資金は293百万円（前期は134百万円の使用）となりました。

これは主に、定期預金の純減216百万円、敷金及び保証金の純減83百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、財務活動の結果得られた資金は366百万円（前期は149百万円の使用）となりました。

これは主に、長短借入金の純増382百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第45期 2019年3月期	第46期 2020年3月期	第47期 2021年3月期
自己資本比率 (%)	41.8	40.6	20.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	53.1	55.6	57.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	8.1	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	8.6	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

2. 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについてはキャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 2020年3月期及び2021年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載していません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、国内でワクチン接種が進むと思われるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、消費マインドの低下や少子高齢化による労働力の先細り懸念もあることから、先行き不透明な状況が予想されます。

このような状況の中、当社といたしましては「Always Beautiful」をスローガンに、お客様が毎日どこでも綺麗でいていただくために、全社を挙げてお客様に喜んでいただけるサロンづくりをしております。

また、当社は早期に業績改善を行い、再成長へ展開が図れる企業体質を構築するため、2021年度（2021年4月～2022年3月）を対象とした、事業構造改革プラン『T9』を発表いたしました。本計画の重点施策を着実に実行し、経営基盤の再構築に努めていく所存であります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束時期や消費の動向を見通せないこと等、現段階において業績予想の適正かつ合理的な算定をすることが困難であるため、次期の業績予想は未定としております。

第1四半期決算短信を公表する段階で2022年3月期業績予想を開示する予定です。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当事業年度において、新型コロナウイルス感染拡大による急速な消費マインドの冷え込みによる来店周期の伸びや、外出自粛等の影響に伴う入客数の減少により、売上高が著しく減少し、2期連続で営業損失および経常損失を計上いたしました。

また、当事業年度においても継続して当期純損失を計上しており、2016年12月に取引金融機関と締結したシンジケートローン契約について当事業年度末において財務制限条項に抵触する事態となっており、期限の利益の喪失による請求権を行使された場合、資金繰りに与える影響が生じているため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社は早期に業績改善を行い、再成長へ展開が図れる企業体質を構築するため、2021年度(2021年4月～2022年3月)を対象とした、事業構造改革プラン『T9』を発表いたしました。

本計画の重点施策としましては、①店舗運営の再構築②優良顧客の囲い込み③ブランディング力の強化④生産性の追求⑤営業・技術力の強化⑥商品販売の拡大⑦固定費の削減⑧経営迅速化に向けた組織再編⑨ESGの推進の9つの施策を軸に、事業における収益力の改善および本部費用の削減、さらに資産の売却、設備投資の抑制等に取り組み、当該状況の改善に努めてまいります。

資金面につきましては、当事業年度において制度融資の実行により手元資金を拡充いたしました。また、提出日現在においては、本社土地建物の譲渡契約の締結により、当面の運転資金を確保できる売却額となる見通しとなりました。

懸念事項となっております、財務制限条項の抵触による期限の利益の喪失の請求につきましては行使の猶予をいただいております、今後のシンジケートローン契約の存続について協議を行っております。なお、資産売却による収入により今後の事業運営における資金繰りの懸念はなく、引き続き取引金融機関とは緊密に連携を行い、将来必要となる資金についてもご支援いただけるよう良好な関係を継続できるよう対応してまいります。

これらにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS(国際財務報告基準)導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めております。

3. 財務諸表及び主な注記

（1）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785,078	389,827
売掛金	297,924	330,462
商品	74,565	58,810
美容材料	23,056	19,540
貯蔵品	11,657	10,867
前払費用	99,027	113,851
その他	29,010	45,645
貸倒引当金	△305	△913
流動資産合計	1,320,016	968,091
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,132,800	4,011,821
減価償却累計額	△3,192,548	△3,306,962
建物（純額）	940,252	704,858
構築物	25,869	25,869
減価償却累計額	△24,384	△24,649
構築物（純額）	1,485	1,220
工具、器具及び備品	124,936	121,027
減価償却累計額	△67,162	△84,820
工具、器具及び備品（純額）	57,773	36,206
土地	1,176,869	1,176,803
リース資産	51,585	27,821
減価償却累計額	△38,477	△21,630
リース資産（純額）	13,108	6,191
有形固定資産合計	2,189,488	1,925,280
無形固定資産		
ソフトウェア	1,329	776
その他	30,097	30,097
無形固定資産合計	31,427	30,874
投資その他の資産		
出資金	207	197
破産更生債権等	3,000	3,000
長期前払費用	13,341	9,109
繰延税金資産	—	581,831
敷金及び保証金	1,465,009	1,378,352
その他	9,165	6,245
貸倒引当金	△3,000	△3,000
投資その他の資産合計	1,487,723	1,975,735
固定資産合計	3,708,640	3,931,890
資産合計	5,028,656	4,899,981

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	121,386	80,352
電子記録債務	144,932	129,085
買掛金	51,517	50,579
短期借入金	455,001	743,000
1年内返済予定の長期借入金	205,490	219,262
リース債務	7,774	4,289
未払金	89,025	90,275
未払費用	369,418	505,484
未払法人税等	85,391	150,934
未払消費税等	65,519	168,547
前受金	2,385	2,278
預り金	22,297	143,489
賞与引当金	54,917	50,247
資産除去債務	—	166,532
流動負債合計	1,675,058	2,504,358
固定負債		
長期借入金	742,671	823,409
リース債務	6,512	2,222
繰延税金負債	9,410	—
退職給付引当金	355,312	359,346
資産除去債務	199,644	178,106
その他	534	6,899
固定負債合計	1,314,086	1,369,985
負債合計	2,989,144	3,874,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金		
資本準備金	1,702,245	1,702,245
資本剰余金合計	1,702,245	1,702,245
利益剰余金		
利益準備金	66,920	66,920
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,050,335	△2,064,209
利益剰余金合計	△983,415	△1,997,289
自己株式	△159,497	△159,497
株主資本合計	2,039,512	1,025,638
純資産合計	2,039,512	1,025,638
負債純資産合計	5,028,656	4,899,981

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高		
美容施術売上高	7,829,782	6,042,451
商品売上高	890,227	735,015
その他の売上高	26,893	7,604
売上高合計	8,746,902	6,785,071
売上原価		
美容施術売上原価	7,390,386	6,585,665
商品売上原価	426,501	349,327
その他の売上原価	16,754	352
売上原価合計	7,833,642	6,935,345
売上総利益又は売上総損失(△)	913,259	△150,273
販売費及び一般管理費	1,298,113	1,113,878
営業損失(△)	△384,854	△1,264,152
営業外収益		
受取利息	79	16
協賛金収入	5,958	5,845
保険配当金	2,170	1,935
受取手数料	3,396	933
その他	6,162	6,549
営業外収益合計	17,767	15,280
営業外費用		
支払利息	19,854	21,134
シンジケートローン手数料	9,685	8,069
貸倒引当金繰入額	3,000	—
その他	1,786	4,340
営業外費用合計	34,326	33,544
経常損失(△)	△401,413	△1,282,417
特別利益		
固定資産売却益	3,599	—
退店補償金	220,000	1,627
移転補償金	39,686	—
受取保険金	—	6,000
保険解約返戻金	—	17,930
助成金収入	—	87,105
特別利益合計	263,285	112,662
特別損失		
役員退職慰労金	—	14,000
固定資産除却損	35,183	13,533
固定資産売却損	—	28
減損損失	164,153	62,963
店舗休業損失	—	120,011
店舗閉鎖損失	2,157	177,064
特別損失合計	201,494	387,600
税引前当期純損失(△)	△339,621	△1,557,355
法人税、住民税及び事業税	44,447	47,760
法人税等調整額	394	△591,241
法人税等合計	44,842	△543,481
当期純損失(△)	△384,464	△1,013,873

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△665,871	△598,951
当期変動額						
当期純損失(△)					△384,464	△384,464
当期変動額合計	—	—	—	—	△384,464	△384,464
当期末残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△1,050,335	△983,415

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△159,497	2,423,976	2,423,976
当期変動額			
当期純損失(△)		△384,464	△384,464
当期変動額合計	—	△384,464	△384,464
当期末残高	△159,497	2,039,512	2,039,512

当事業年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△1,050,335	△983,415
当期変動額						
当期純損失(△)					△1,013,873	△1,013,873
当期変動額合計	—	—	—	—	△1,013,873	△1,013,873
当期末残高	1,480,180	1,702,245	1,702,245	66,920	△2,064,209	△1,997,289

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△159,497	2,039,512	2,039,512
当期変動額			
当期純損失(△)		△1,013,873	△1,013,873
当期変動額合計	—	△1,013,873	△1,013,873
当期末残高	△159,497	1,025,638	1,025,638

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△339,621	△1,557,355
減価償却費	226,205	180,428
減損損失	164,153	62,963
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,666	△4,670
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△22,073	4,033
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,069	608
受取利息	△79	△16
支払利息	19,854	21,134
シンジケートローン手数料	9,685	8,069
固定資産除却損	35,183	13,533
固定資産売却損益(△は益)	△3,599	28
店舗閉鎖損失	2,157	177,064
退店補償金	△220,000	△1,627
移転補償金	△39,686	—
助成金収入	—	△87,105
受取保険金	—	△6,000
保険解約返戻金	—	△17,930
役員退職慰労金	—	14,000
店舗休業損失	—	120,011
売上債権の増減額(△は増加)	164,117	△32,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,026	20,061
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,838	△51,768
未払金の増減額(△は減少)	△10,405	△1,677
未払費用の増減額(△は減少)	△89,287	110,193
預り金の増減額(△は減少)	△52,148	121,192
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,154	103,027
その他	△1,646	8,530
小計	△234,810	△795,914
利息の受取額	81	25
利息の支払額	△20,190	△21,255
助成金の受取額	—	87,105
保険金の受取額	—	6,000
退店補償金の受取額	220,000	1,627
移転補償金の受取額	39,686	—
役員退職慰労金の支払額	—	△7,230
店舗休業損失の支払額	—	△94,194
法人税等の支払額	△45,108	△15,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	△40,342	△839,250

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△340,697	△151,606
定期預金の払戻による収入	327,429	367,962
有形固定資産の取得による支出	△150,220	△27,524
有形固定資産の売却による収入	25,500	110
敷金及び保証金の差入による支出	△31,068	△9,991
敷金及び保証金の回収による収入	48,949	93,433
保険積立金の解約による収入	—	22,785
資産除去債務の履行による支出	△5,050	—
その他	△9,640	△1,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,797	293,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	482,200	405,300
短期借入金の返済による支出	△396,619	△117,301
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△212,698	△205,490
リース債務の返済による支出	△11,948	△7,774
シンジケートローン手数料の支払額	△9,981	△8,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△149,047	366,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△324,221	△178,896
現金及び現金同等物の期首残高	882,111	557,889
現金及び現金同等物の期末残高	557,889	378,993

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)及び当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	美容施術	商品	その他	合計
外部顧客への売上高	7,829,782	890,227	26,893	8,746,902

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	美容施術	商品	その他	合計
外部顧客への売上高	6,042,451	735,015	7,604	6,785,071

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	408.14	205.25
1株当たり当期純損失(円)	76.94	202.89
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、1株当たり 当期純損失であり、また、潜在株式 が存在しないため記載しておりませ ん。	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、1株当たり 当期純損失であり、また、潜在株式 が存在しないため記載しておりませ ん。

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(千円)	384,464	1,013,873
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(千円)	384,464	1,013,873
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,997	4,997

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2021年4月28日開催の取締役会において、固定資産の譲渡について決議し、同日譲渡契約を締結いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用と財務体質の強化を図ることおよびオフィスでの従来の働き方の見直しに伴い、当社が保有する固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

(1) 資産の名称	株式会社田谷 本社ビル
(2) 所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目18番19号
(3) 土地面積	792.16㎡
(4) 建物	延床面積：1,903.41㎡
(5) 帳簿価額	11億円(2021年3月31日現在)
(6) 譲渡益	約23億円
(7) 現況	当社本社事務所、他

※表示単位未満は切り捨てております。

3. 譲渡先の概要

譲渡先の概要につきましては、譲渡先との守秘義務契約により開示は控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先の間には、資本関係、人的関係、取引関係および関連当事者として特記すべき事項はありません。

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は2021年4月28日開催の取締役会において、2021年6月22日開催予定の第47期定時株主総会に、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について付議することを決議いたしました。

1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている繰越利益剰余金の欠損を補填し、財務体質の健全化を図るとともに、早期復配の実現と今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うことといたしました。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金の額 1,480,180,000円のうち1,430,180,000円を減少し、50,000,000円といたします。

(2) 資本金の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、資本金の減少額1,430,180,000円はその他資本剰余金に振り替えます。

3. 資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少する資本準備金の額

資本準備金の額 1,702,245,248円を全額減少し、0円といたします。

(2) 資本準備金の減少の方法

資本準備金の減少額 1,702,245,248円は全額その他資本剰余金に振り替えます。

4. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記の資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に増加したその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当いたします。

なお、振替後の繰越利益剰余金は0円となります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額 その他資本剰余金 2,064,209,430円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額 繰越利益剰余金 2,064,209,430円

5. 資本金及び資本準備金の額の減少の日程

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2021年4月28日 |
| (2) 債権者異議申述公告日 | 2021年5月11日(予定) |
| (3) 債権者異議申述最終日 | 2021年6月12日(予定) |
| (4) 株主総会決議日 | 2021年6月22日(予定) |
| (5) 効力発生日 | 2021年6月22日(予定) |

4. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

1. 新任取締役候補

該当事項はありません。

2. 退任予定取締役

該当事項はありません。

(2) その他

区分別売上高比較

区分	前事業年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日		当事業年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日		前期比較
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減(△) (千円)
美容施術	7,829,782	89.5	6,042,451	89.1	△1,787,330
商品	890,227	10.2	735,015	10.8	△155,212
その他	26,893	0.3	7,604	0.1	△19,288
合計	8,746,902	100.0	6,785,071	100.0	△1,961,831